

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「GS ハイ・イールド・ボンド・ファンド」は、このたび、第222期～第227期の決算を行いました。本ファンドは、米国を中心としたハイ・イールド社債を主要投資対象として、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

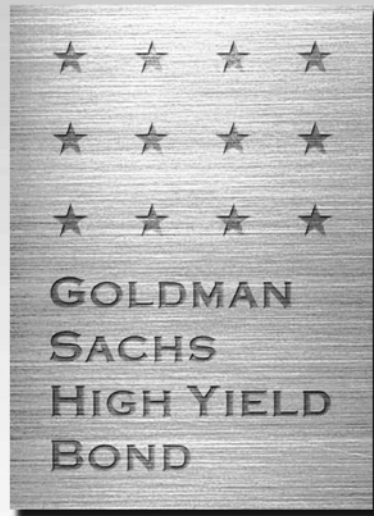
第227期末(2023年9月11日)		第222期～第227期	
基準価額	3,170円	騰落率	11.71%
純資産総額	38,085百万円	分配金合計	120円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付できる旨が定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



## 交付運用報告書

# GS ハイ・イールド・ボンド・ファンド

追加型投信／海外／債券

第222期(決算日2023年4月10日)  
第223期(決算日2023年5月10日)  
第224期(決算日2023年6月12日)  
第225期(決算日2023年7月10日)  
第226期(決算日2023年8月10日)  
第227期(決算日2023年9月11日)

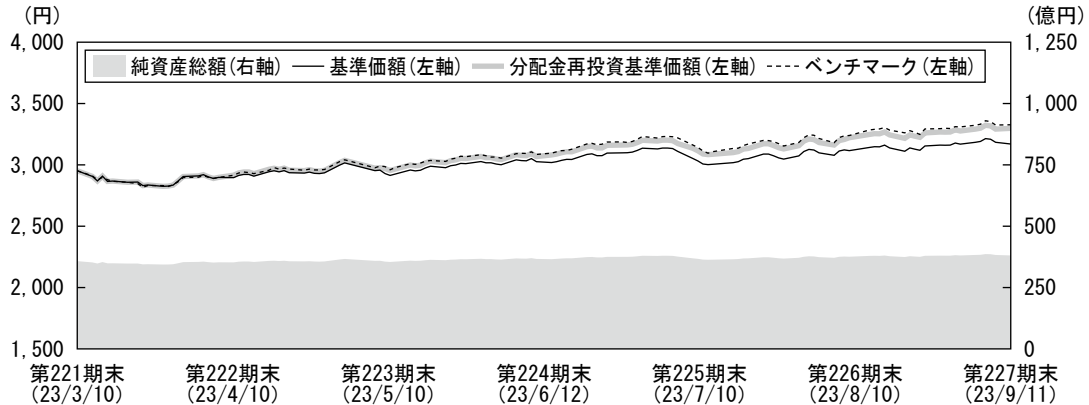
作成対象期間: 2023年3月11日～2023年9月11日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー  
お問合せ先: 03-6437-6000(代表)  
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | [www.gsam.co.jp](http://www.gsam.co.jp)

## 運用経過

### ■ 基準価額等の推移について（2023年3月11日～2023年9月11日）



第222期首：2,952円

第227期末：3,170円

（当作成期中にお支払いした分配金：120円）

騰落率：+11.71%（分配金再投資ベース）

- (注1) ベンチマークはブルームバーグUSコーポレート・ハイ・イールド・インデックス（円ベース）です。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

### ■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の2,952円から218円上昇し、期末には3,170円となりました。

#### 上昇要因

円安米ドル高が進行したことや、保有しているハイ・イールド社債からのクーポン収入などが、基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

米国債の利回りが上昇（価格は下落）したことや、分配金をお支払いしたことなどが、基準価額の下落要因となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ* <sup>1</sup>	12.45%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド* <sup>2</sup>	10.88%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- \* 1 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・インスティテューショナル・ファンズ・ピーエルシー  
シーグローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ・FOF1・シェアクラス
- \* 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー  
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド インスティテューショナル・アキュムレーション・シェアクラス

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第222期～第227期		項目の概要
	2023年3月11日～2023年9月11日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	15円 (3)	0.500% (0.083)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种種類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(12)	(0.400)	
(受託会社)	(1)	(0.017)	
その他費用 (保管費用)	0 (0)	0.006 (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.003)	
合計	15	0.506	

期中の平均基準価額は3,040円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

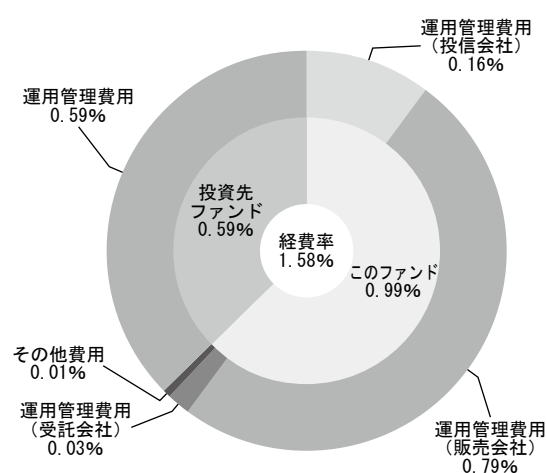
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### (参考情報)

## 経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く)

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.58%です。



経費率(①+②)		1.58%
①このファンドの費用の比率	0.99%	
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59%	

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

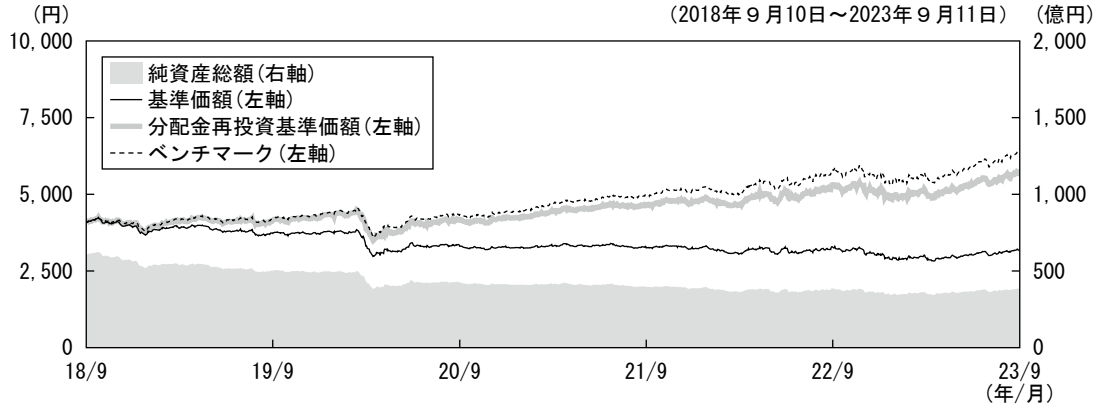
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2018年9月10日の基準価額を起点として指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/9/10 決算日	2019/9/10 決算日	2020/9/10 決算日	2021/9/10 決算日	2022/9/12 決算日	2023/9/11 決算日
基準価額（分配落）（円）	4,072	3,725	3,305	3,253	3,251	3,170
期間分配金合計（税引前）（円）	—	420	420	420	420	300
分配金再投資基準価額騰落率	—	1.93%	0.18%	11.76%	13.92%	7.61%
ベンチマーク騰落率	—	3.56%	2.88%	14.44%	16.56%	9.39%
純資産総額（百万円）	60,528	50,024	42,272	39,479	38,273	38,085

## ■ 投資環境について

### <米国債券市場>

当期の米国債券市場では、10年国債利回りは上昇しました。期初は、概ねレンジ内で推移しましたが、一部の連銀総裁による利上げに積極的な発言などを受けて、5月中旬にかけて利回りは上昇しました。期の後半に入ると、6月のISM（米供給管理協会）非製造業景況指数が市場予想を上回り、米経済の先行きに対する楽観的な見方が広がった局面などで、利回りは上昇しました。その後も、一部の国債入札が軟調な結果となったことに加えて、2023年4－6月期の米実質GDP（国内総生産）速報値が市場予想を上回り、景気拡大への期待が高まったことなどから利回りは概ね上昇基調で推移しました。また、米財務省が国債の新規発行見通しを上方修正し、需給悪化が懸念されたことや、7月の小売売上高が上振れたことなども利回り上昇要因となり、前期末を上回る水準で期を終えました。

### <ハイ・イールド社債市場>

期初は、米地方銀行の破綻などに伴い金融システム不安が懸念された中、金融機関を対象にFRB（米連邦準備制度理事会）が融資枠の新設を発表したことや、原油価格が上昇したことなどからスプレッド（米国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。その後は、中国の経済指標が弱含み、原油需要の減退が意識されたことなどを背景に、原油価格が下落した局面などでスプレッドは拡大しましたが、米政府の債務上限問題への警戒感が後退し、投資家のリスク回避的な動きが弱まるとスプレッドは縮小に転じました。期の後半にかけては、米国の株式市場が上昇し、投資家のリスク選好的な動きが強まったことなどからスプレッドは概ね縮小傾向で推移しました。

### <外国為替市場>

外国為替市場では、米ドルは円に対して上昇しました。期の前半は、日銀による金融緩和の修正観測が広がったことや、4月の米小売売上高が市場予想を下回ったものの伸び率は増加し、米経済の底堅さが意識されたことなどから円安米ドル高が進みました。期の後半に入ると、一部の米連銀総裁による利上げの長期化を示唆する発言などを受けて米国債利回りが上昇し、日米間での金利差拡大が意識されたことなどから、ドルを買う動きが一段と優勢になりましたが、米国の6月の雇用統計やCPI（消費者物価指数）がいずれも市場予想を下回り、FRBによる利上げが長期化するとの見方が後退した局面などでは、円を買い戻す動きが見られました。期末にかけては、7月の米製造業PMI（購買担当者景気指数）速報値や、2023年4－6月期の米実質GDP速報値がいずれも市場予想を上回り、米景気拡大への期待が高まった局面などで米ドルを買う動きが再び優勢となり、前期末比でも円安米ドル高となる水準で期を終えました。

### <短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1ヵ月は前期末の4.18%程度から5.29%程度まで上昇して期末を迎えました。

## ■ ポートフォリオについて

### <本ファンド>

本ファンドはグローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてグローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡを概ね高位に組入れ、米国を中心としたハイ・イールド社債を実質的な投資対象とすることにより、信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

### <グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ>

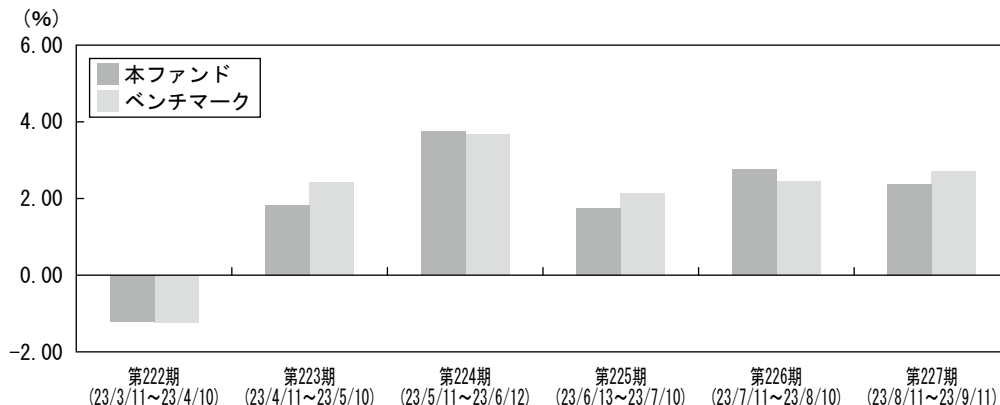
米国を中心とした高利回り社債に投資することにより、収入（インカム）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなる高水準のトータル・リターンを獲得することを目的として、運用を行いました。

### <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

## ■ ベンチマークとの差異について

### <当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+11.71%となり、ベンチマーク（+12.70%）を下回りました。

当期は、セクター別では、建設資材のオーバーウェイトや電力セクターのアンダーウェイトなどがプラス寄与となったものの、レジャー／レストランや小売／アパレルセクターのアンダーウェイトなどがマイナス寄与となりました。また、テクノロジーセクターの個別銘柄選択などがプラス寄与となった一方で、固定電話セクターの個別銘柄選択などがマイナス寄与となりました。

## ■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第222期から第227期は各20円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <分配原資の内訳>

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期
	2023年3月11日 ~2023年4月10日	2023年4月11日 ~2023年5月10日	2023年5月11日 ~2023年6月12日	2023年6月13日 ~2023年7月10日	2023年7月11日 ~2023年8月10日	2023年8月11日 ~2023年9月11日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.686	0.678	0.658	0.651	0.638	0.627
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,809	1,826	1,845	1,864	1,884	1,905

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針について

### <本ファンド>

今後も引き続きグローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡの組入れを高位に保ち、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

### <グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ>

ハイ・イールド社債市場についてはやや強気にみています。需要減退や景気減速が企業業績に及ぼす影響には注意が必要ですが、利回りの高さや社債の新規発行が鈍化していることに加えて、企業が保有する現預金は豊富で、バランスシートが概ね健全なことなどは追い風になるとみています。また、市場のボラティリティ上昇に伴いスプレッドが拡大する局面ではポジションを積み増す好機になり得ると考えます。セクター別では、景気サイクルを通して需要が総じて底堅く、利回りが魅力的な化学セクターや、バランスシートが強固で利ざやの拡大による恩恵が見込まれる銀行セクターなどを強気にみています。一方、過小投資などを理由にブロードバンド市場でのシェア低下や、業績見通しの悪化が懸念される固定電話セクター、気候変動対策に伴う設備投資拡大が懸念される電力セクターの投資妙味は低いとみています。

### <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

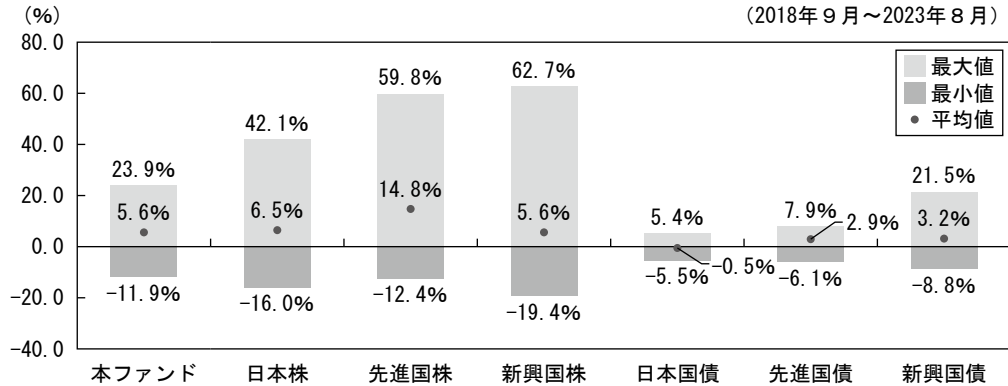
(上記見通しは2023年9月11日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

## 本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限
運用方針	投資適格未滿に格付けされた高利回りの債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、収入（インカム）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）から構成される高い水準のトータル・リターンを獲得することによって信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・インスティテューショナル・ファンズ・ピーエルシー ①グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	欧米の企業により発行された投資適格格付未滿に格付けされた高利回りの債券
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③指定投資信託証券および外国法人が発行する譲渡性預金証書以外の外貨建資産、および、株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月10日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

## (参考情報)

## ■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2018年9月から2023年8月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

## ○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI インクに帰属します。MSCI およびMSCI の情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「MSCI 当事者」といいます）は、MSCI の情報について一切の保証（獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI 当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCI の書面による明示的な同意がない限り、MSCI の情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 本ファンドのデータ

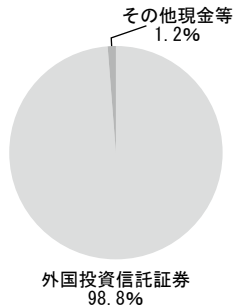
■ 本ファンドの組入資産の内容（2023年9月11日現在）

○ 組入れファンド

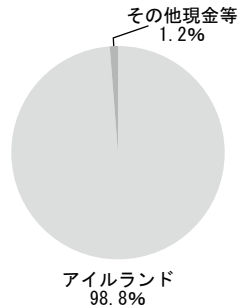
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ	95.9%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.9%

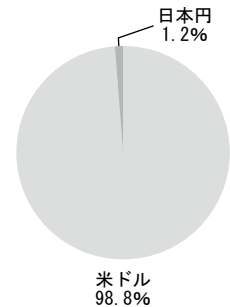
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

## ■ 純資産等

項目	第222期末	第223期末	第224期末	第225期末	第226期末	第227期末
	2023年4月10日	2023年5月10日	2023年6月12日	2023年7月10日	2023年8月10日	2023年9月11日
純資産総額	35,258,829,961円	35,566,259,428円	36,557,829,616円	36,908,722,139円	37,562,913,606円	38,085,371,311円
受益権総口数	121,758,858,204口	121,413,718,557口	121,109,805,671口	120,943,814,496口	120,554,136,201口	120,128,027,484口
1万口当たり基準価額	2,896円	2,929円	3,019円	3,052円	3,116円	3,170円

（注）当作成期首元本額は121,156,324,914円、当作成期間（第222期～第227期）中において、追加設定元本額は3,705,489,555円、同解約元本額は4,733,786,985円です。

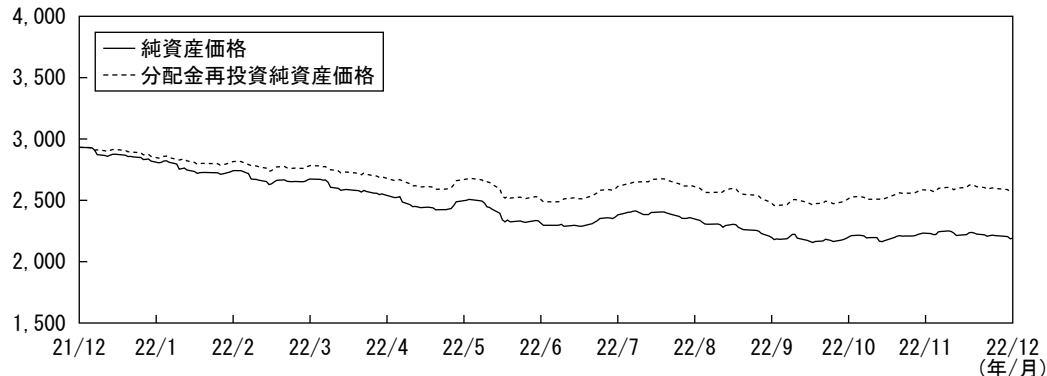
## ■ 組入上位ファンドの概要

### <グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオⅡ> (2022年12月31日現在)

\*2023年9月11日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

#### ○純資産価格\*等の推移について (2022年1月1日～2022年12月31日)

(米ドル)



#### \* FOF 1・シェアクラスの純資産価格

(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2021年12月31日の純資産価格を起点として指数化しています。

#### ○費用明細 (2022年12月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

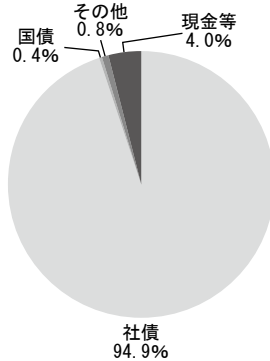
費用	
管理事務報酬	40,064
投資顧問報酬	1,676,662
管理事務代行報酬および保管費用	198,928
名義書換事務代行報酬	13,309
監査報酬	55,301
取締役報酬	4,873
弁護士報酬	13,974
保険費用	1,912
印刷費用	966
その他費用	43,023
費用合計	2,049,012
投資顧問報酬および諸費用の調整額	(1,333)
運用費用合計	2,047,679

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

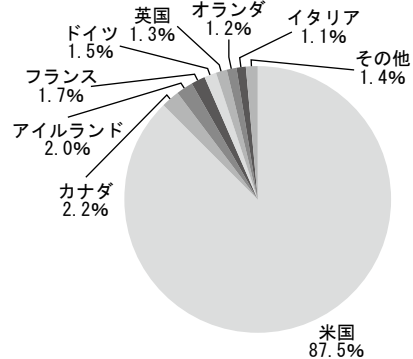
## ○債券特性値

最終利回り : 8.83%  
 デュレーション : 3.93年

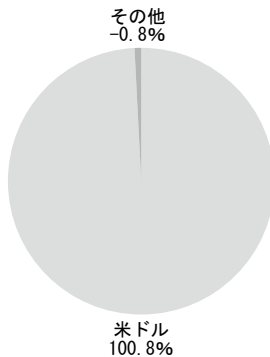
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



## ○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 546銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	GOO HOLDINGS, LLC 4.25% 02/01/2031	社債	米ドル	0.8%
2	FORD MOTOR CREDIT COMPANY LLC 3.815% 11/02/2027	社債	米ドル	0.6%
3	UBER TECHNOLOGIES, INC. 7.5% 05/15/2025	社債	米ドル	0.6%
4	USA COMPRESSION PARTNERS, LLC 6.875% 04/01/2026	社債	米ドル	0.6%
5	LAS VEGAS SANDS CORP. 3.2% 08/08/2024	社債	米ドル	0.6%
6	TRANSDIGM INC. 5.5% 11/15/2027	社債	米ドル	0.5%
7	GLOBAL AIRCRAFT LEASING CO LTD 7.25% 09/15/2024	社債	米ドル	0.5%
8	IHEARTCOMMUNICATIONS, INC. 8.375% 05/01/2027	社債	米ドル	0.5%
9	ONEMAIN FINANCE CORPORATION 7.125% 03/15/2026	社債	米ドル	0.5%
10	AMERICAN BUILDERS & CONTRACTORS SUPPLY CO., INC. 3.875% 11/15/2029	社債	米ドル	0.5%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

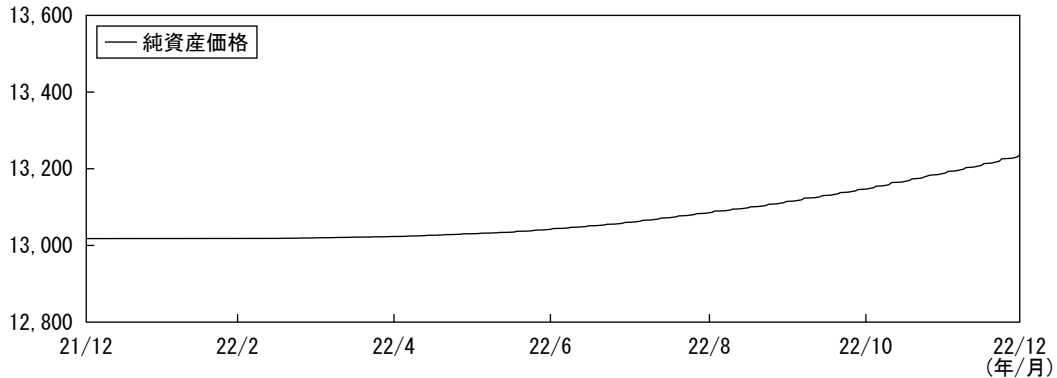
\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## &lt;ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド&gt; (2022年12月31日現在)

\*2023年9月11日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

## ○純資産価格等の推移について (2022年1月1日～2022年12月31日)

(米ドル)

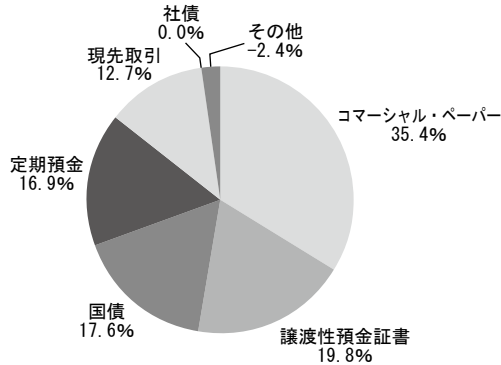


## ○費用明細 (2022年12月31日に終了した期間) (単位：米ドル)

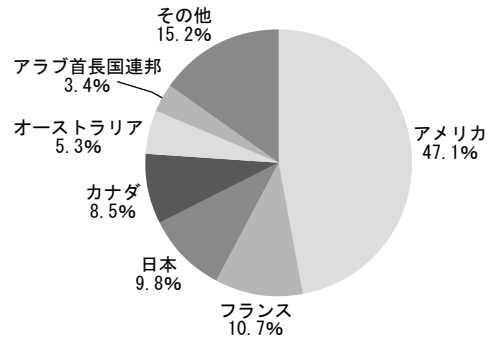
費用	
投資顧問報酬	69,081,454
管理会社報酬	3,682,413
管理事務代行報酬	1,194,381
保管費用	1,607,581
販売報酬	3,489,257
名義書換事務代行報酬	464,601
監査報酬	15,188
取締役報酬	14,475
弁護士報酬	39,338
保険費用	204,761
印刷費用	24,047
その他費用	585,112
費用合計	80,402,608
投資顧問報酬調整額	(7,685,797)
運用費用合計	72,716,811

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

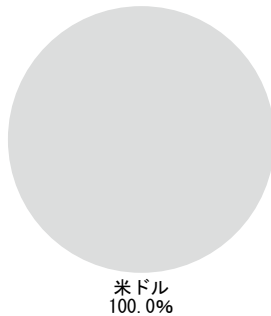
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：242銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	State Street Bank And Trust Go Repo 4.300% 2023/1/3	現先取引	米ドル	8.4%
2	Australia & New Zealand Banking Group Ltd 4.320% 2023/1/3	定期預金	米ドル	3.2%
3	Federal Home Loan Banks 4.320% 2023/3/20	国債	米ドル	2.9%
4	Banco Santander SA 4.300% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.7%
5	Canadian Imperial Bank of Commerce 4.300% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.6%
6	Societe Generale 4.430% 2023/1/4	定期預金	米ドル	2.3%
7	Societe Generale 4.430% 2023/1/3	定期預金	米ドル	2.3%
8	Federal Farm Credit Banks Funding Corp 4.360% 2023/8/1	国債	米ドル	1.7%
9	Citigroup Global Markets Inc Repo 4.300% 2023/1/3	現先取引	米ドル	1.5%
10	Federal Home Loan Bank Discount Notes 4.434% 2023/3/22	国債	米ドル	1.5%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。